

# 製品安全データシート

整理番号: B - 300

## 製造者情報

会社名	株式会社ニッソーグリーン
住所	〒110-0005 東京都台東区上野3丁目1番2号
担当部門	営業一部
TEL	03-5816-4351
FAX	03-5816-4355
緊急連絡先	営業一部
TEL	03-5816-4351
作成日	2001年9月10日
改訂日	2009年3月6日(02版)

## 製品名

クリーンコール

## 物質の特定

区別	混合物
化学名	穀類等の天然植物を枯草菌で醗酵させ、乾燥粉粒としたものを主成分とする、土壌改質および堆肥促進剤

## 組成情報

### 炭酸カルシウムのデータ

CAS No.	471-34-1
化学式	CaCO <sub>3</sub>
含有量	1%未満
化審法	官報公示整理番号 1-122(既存化学物質)
安衛法	なし(公表化学物質扱い)

### リン二水素アンモニウムのデータ

CAS No.	7722-76-1
化学式	NH <sub>4</sub> H <sub>2</sub> PO <sub>4</sub>
含有量	0.1%未満
化審法	官報公示整理番号 1-379
安衛法	なし(公表化学物質扱い)

EINECS No.200-315-5

### ペプトンのデータ

CAS No.	91079-46-8
含有量	1%未満
化審法	対象外
安衛法	官報公示整理番号 11-4-612

### ゼオライトのデータ

CAS No.	1318-02-1
含有量	35~45%
化審法	官報公示整理番号 1-508
安衛法	なし(公表化学物質扱い)

もろこし粉、小麦粉及びふすま、大豆かす、米ぬか

CAS No.	なし
含有量	40~50%

危険有害性の分類	
分類の名称	該当せず
危険性	通常の取扱い条件下では安定である。
有害性	皮膚や眼に触れると、刺激を受け、放置すると炎症を起こす事がある粉塵を長時間又は反復して、多量に吸入すると、塵肺を起こす事がある。
環境影響	生分解性は良好であるが、多量に河川、ため池、排水溝等に入るとBOD値が高くなる。
応急措置	
飲み込んだ場合	コップ数杯のぬるま湯、食塩水等を飲ませた後、できれば指をのどに差し込んで吐き出させる。落ち着いたら牛乳又は卵白を飲ませる。不快を感じたら速やかに医師の手当を受ける。
吸引した場合	新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、水でよくうがいをさせる。刺激や痛みを感じたら、速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚染した衣服、靴等を脱ぎ、触れたものを払い落としした後、付着部位を石鹼を用いて多量の水でよく洗う。 処置後、身体に異常を感じたら速やかに医師の手当てを受ける。
眼に入った場合	直ちに多量の水道水（流水）で15分間以上洗浄（瞼の隅々まで）する。処置後、刺激や痛みを感じたときは、速やかに眼科医の手当てを受ける。
火災時の処置	
消化方法	空気呼吸器及びその他の保護具を着用し、風上から消化する。火災に際し、一酸化炭素などの有毒ガスを発生する。周辺火災の場合は、製品を安全な場所に移動する。不可能なら容器及び周辺に散水する。
消化剤	水及び一般火災用消火剤。
漏出時の措置	1)風上に人を退避させ、漏出した場所の周辺にロープを張るなどし、「立入禁止」の措置を取る。 2)回収作業の際には、必ず保護具を着用する。（保護具については、「暴露防止措置」の項を参照のこと） 3)できるだけ粉を立てないようにして掃き集め空容器に回収する。 4)回収した後は大量の水で洗い流す。この際、濃厚な廃液が河川等に排出させないように注意する。
取扱い及び保管上の注意	
取扱い	1)吸い込んだり、眼、皮膚に触れないように適切な保護具（保護具については、「暴露防止措置」の項を参照）を着用する。 2)できるだけ粉を立てないように取り扱う。局所排気装置又はドラフト内で取り扱う。 3)取扱い後は、手足等の露出部を石鹼を用いてよく洗う。
保管	品質保持およびネズミ等による食害防止のため密封して、乾燥した換気の良い屋内に保管する。

暴露防止措置

炭酸カルシウムのデータ  
 厚生労働省管理濃度 3mg/m<sup>3</sup>  
 ゼオライトのデータ  
 厚生労働省管理濃度 3mg/m<sup>3</sup>  
 ペプトンのデータ  
 厚生労働省管理濃度 設定されていない

許容濃度

炭酸カルシウムのデータ  
 産業衛生学会 8(総粉塵)、2(吸入性粉塵)mg/m<sup>3</sup>  
 ACGIH TLVs(TWA) 10mg/m<sup>3</sup>  
 ゼオライトのデータ  
 産業衛生学会 総粉塵 8mg/m<sup>3</sup>(2008年度)  
 ACGIH TLVs(TWA) 記載なし(2008年度)  
 ペプトンのデータ  
 産業衛生学会 記載なし(2002年版)

設備対策

屋内での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の付近に手洗いや洗眼器を設ける。

眼の保護具

普通眼鏡型

手の保護具

ゴム製・塩化ビニル製

呼吸器用の保護具

防塵マスク

皮膚及び身体の保護具

材質は特定しないが、長袖・長ズボン。長靴。前掛け又は長袖のつなぎ服の着用を推奨する。

物理・化学的性質

外観等

形状

固体

色

褐色

粗充填時

密度

嵩密度：0.66 ± 0.04 g/ml

密充填時

密度

嵩密度：0.79 ± 0.05 g/ml

溶解性

一部が水に溶解する。(水溶液は中性)

危険性情報

安定性・反応性

通常取扱い条件では安定である。

粉塵爆発性(下限)

データなし(爆発の可能性なしとは言えない)

有害性情報

総括的な有害性情報

刺激性：吸入、又は皮膚や眼との接触により、刺激を受け炎症を起こすことがある。

感作性：なし

急性毒性

炭酸カルシウム

急性経口毒性

LD50(ラット): 6450 mg/kg

## 環境情報

## 環境影響情報

生分解性は良好であるが、一時に多量なものが河川、ため池、排水溝等に入るとBOD値が高くなる。

## 廃棄上の注意

そのまま焼却する。又は、少量ずつ活性汚泥処理する。地下水に影響を与えない場所に埋設も可能(土壌中では有機肥料となる)。

## 輸送上の注意

1)荷役中の取扱いは慎重にし、落下・衝撃、引きずり、手かぎやフォークリフトの爪による突き刺し等で容器を傷め、内容物を漏出させてはならない。

2)輸送中は、直射日光や雨水の浸透を防止するための被覆をすると共に、容器を動揺、摩擦、転落、転倒しないように積載する。

国連分類(クラス)

該当せず

国連分類(国連番号)

なし

## 適用法令

毒物及び劇物取締法

非該当

労働安全衛生法

通知対象物

非該当

化学物質管理促進法

非該当

## その他の情報

記載内容の問い合わせ先 営業一部 (TEL03-5816-4351 FAX03-5816-4355)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常の手扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。